

## 第2章 小売価格の動向

### 1 スーパーマーケット（POSデータ）のうるち米販売価格及び販売動向

#### 調査方法

- ① 株式会社 KSP-SP の KSP-POS データによる。
- ② 調査対象品目  
うるち米（産地品種銘柄別）、もち米
- ③ 調査対象重量（荷姿）  
うるち米ともち米のうち、5kg と 10kg の包装パック
- ④ 小売価格（加重平均、円/5kg、消費税込み）  
販売額（円）÷販売重量（kg）× 5（kg）
- ⑤ 年度集計
  - ・ 平成 18 年度 → 18 年 10 月～19 年 9 月
  - ・ 平成 19 年度 → 19 年 10 月～20 年 9 月
  - ・ 平成 20 年度 → 20 年 10 月～21 年 1 月

POS で使用されている商品コード（JAN コード）は、基本的には商品の名称や内容に変更がないかぎり、同一コードが使用される。米の場合は年産が切り替わっても、同一コードが使用されることが多い。

したがって、POS データでは、年産の切り替え時期が不明であることから、10 月から翌年の 9 月を年度として集計することで、概ね、その年産とみなすものとした。

- ⑥ 収集店舗数
  - ・ 平成 18 年度 534 店舗
  - ・ 平成 19 年度 611 店舗
  - ・ 平成 20 年度 663 店舗（平成 21 年 1 月）
- ⑦ 本調査の POS データの特徴と留意点
  - ・ アイテム数は約 1,500 となっている。
  - ・ 産地品種銘柄別の小売価格は、価格帯の異なる多様なアイテムがあり、特売商品や売れ筋商品が変化することから、価格変動が大きくなっている。
  - ・ 有機米、特別栽培米、減農薬・減化学肥料栽培米も含まれるが、これらの全体に占める割合はきわめて少ない。
  - ・ 収集店舗は 660 店前後であり、全国スーパーマーケット店舗数合計からみると、カバー率は低いので留意する必要がある。また、収集店舗は定点ではなく、月により一部変動があることから対象店舗の規模や商品政策、立地環境等によるバイアスがあることに留意していただきたい。

## (1) スーパーマーケットにおけるうるち米の販売動向

うるち米の小売価格（加重平均）は月別の変動が大きくなっている。これは低価格からプレミアムタイプまで多様な商品群があるなかで、売れ筋商品や特売商品が月により変動することが要因と考えられる。消費者の購買行動として賞与の支給月には、比較的単価の高い商品の売れ行きがよくなることも一因とみられる。

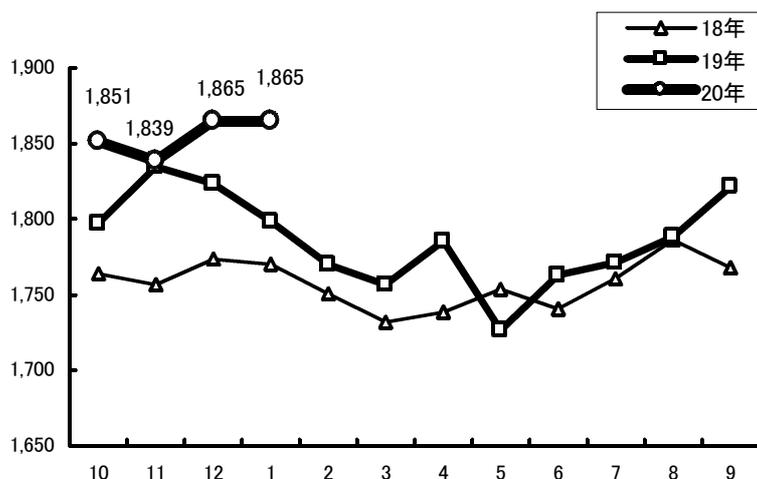
米を販売するスーパーマーケット 660 店（平成 20 年度）におけるうるち米全体のアイテム数は約 1,500 となっている。

この小売価格（加重平均、以下同じ）は、18 年度から年々上昇している。

10 月前後は、アイテムにより、新米への切り替え時期が異なり、前年産と新年産の区別が難しいことから、価格をみる上で留意する必要がある。特に単一品種銘柄米に比べてブレンド米の切り替え時期が遅れる傾向がある。

図2-1 うるち米の販売価格

単位：円/5kg、消費税込み



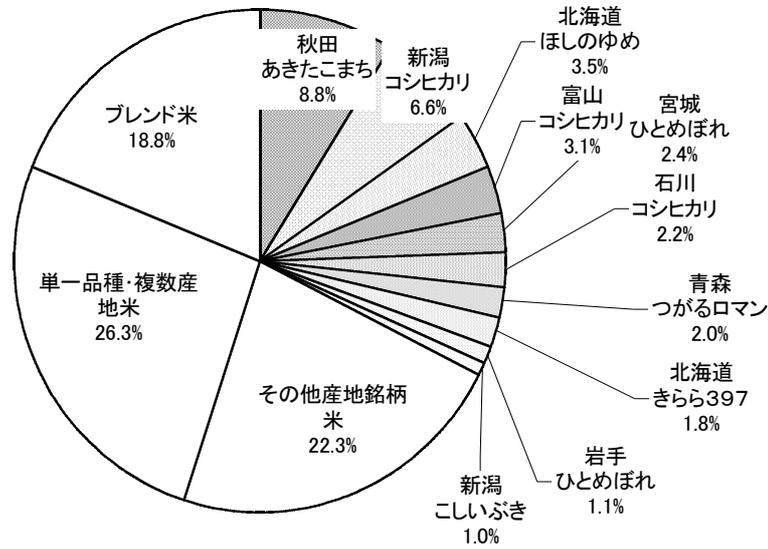
### 産地品種銘柄別の販売シェア

収集店舗における銘柄別の販売重量構成比についてみると、単一産地品種銘柄米は 55 %、単一品種複数産地米が 26 %、ブレンド米が 19 %となっている。うち、単一産地銘柄は秋田県産あきたこまち、新潟産コシヒカリ、北海道ほしのゆめ、富山コシヒカリ、宮城ひとめぼれ、石川コシヒカリ、青森つがるロマン、北海道きらら 397、岩手ひとめぼれなどの順となっている。

これらの銘柄は、米穀卸売業者の NB（ナショナル・ブランド）やスーパーマーケット等の PB（プライベート・ブランド）が多く、NB 対 PB の割合は 81 %対 19 %となっている。

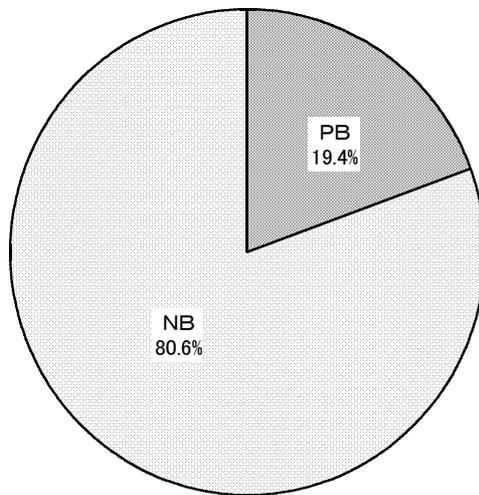
なお、土曜・休日1日あたりの販売数量は、平日1日対比で84%増と多くなっている（平成21年1～2月のPOSデータより）。

図2-2 うるち米の産地品種銘柄別シェア



注: 5kg、10kg入り包装、平成20年10月～21年1月

図2-3 うるち米のNBとPBの割合



注: 5kg、10kg入り包装、平成20年10月～21年1月

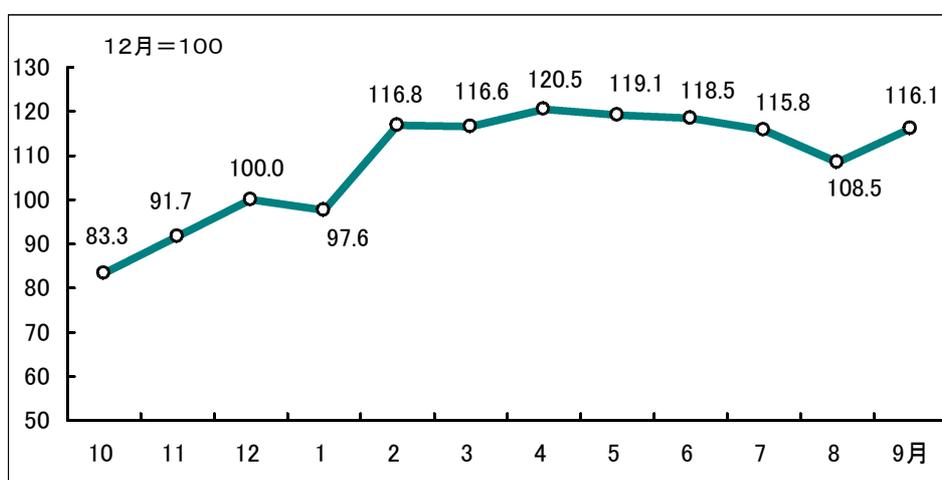
## 販売数量の季節変動

米の販売数量には一定の季節変動がみられる。

過去 48 カ月の季節変動（月別平均法 12月=100）についてみると、10月が83.3で最も少ない。新米が出回り始めてから1月にかけて販売数量が少ないのは、生産者からの縁故米や産直米の購入が多いためではないかと考えられる。2月から7月は販売数量が多く、4月にピークを示している。

スーパーマーケットでは米の販売額は平日に対して休日が多いことから、休日の少ない月は販売数量が少なくなる。1月は正月に米の消費が減少することに加え、前月の反動もあり、少ない。

図2-4 販売数量の季節変動



## (2) スーパーマーケットにおける主要な産地品種銘柄別小売価格

産地品種銘柄別価格は、JA 全農建値や市中相場等と概ね連動したものとなっている。ただし、売価設定は産地品種銘柄、NB の区分、特売頻度により異なっている。

図2-5 北海道きさら397の小売価格

単位：円/5kg、消費税込み

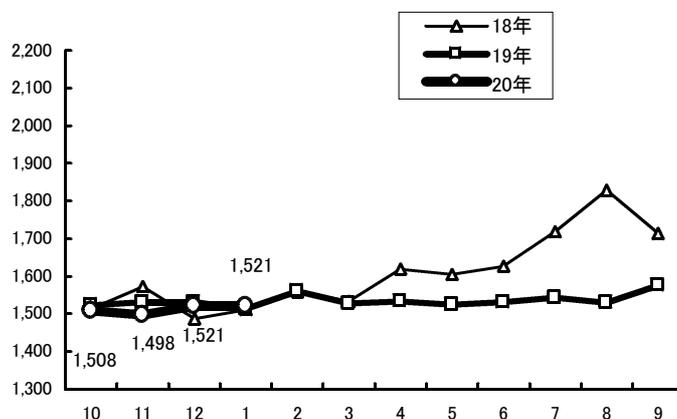


図2-6 青森つがるロマンの小売価格

単位：円／5kg、消費税込み

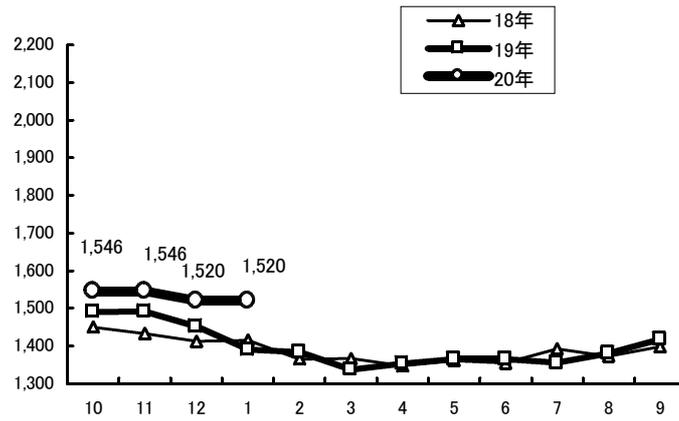


図2-7 宮城ひとめぼれの小売価格

単位：円／5kg、消費税込み

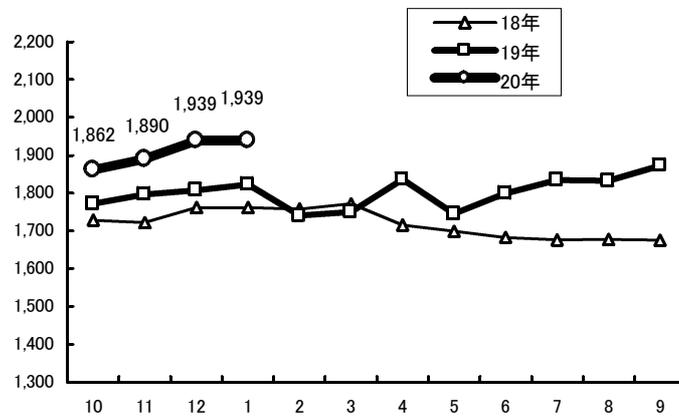


図2-8 秋田あきたこまちの小売価格

単位：円／5kg、消費税込み

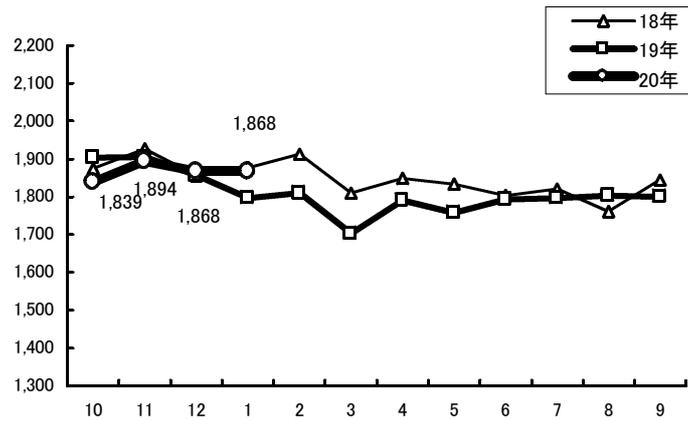


図2-9 山形はえぬきの小売価格

単位：円／5kg、消費税込み

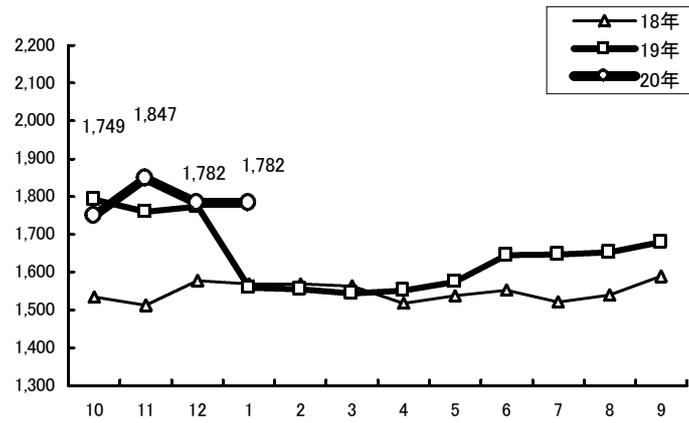


図2-10 栃木コシヒカリの小売価格

単位：円／5kg、消費税込み

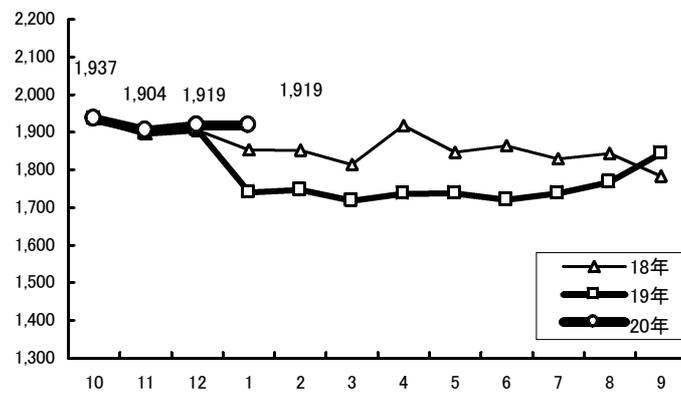


図2-11 新潟コシヒカリの小売価格

単位：円／5kg、消費税込み

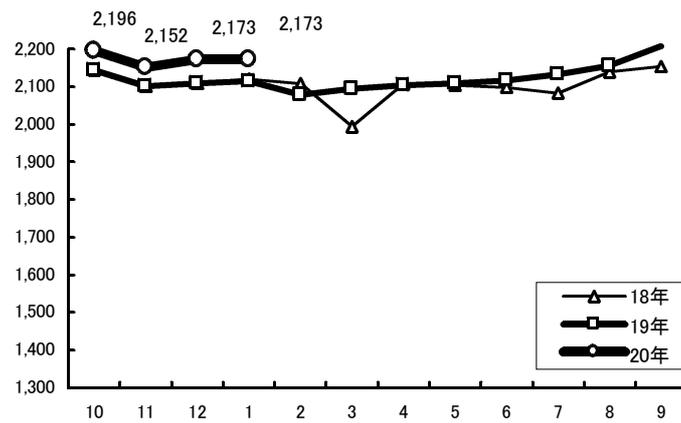


図2-12 富山コシヒカリの小売価格

単位：円/5kg、消費税込み

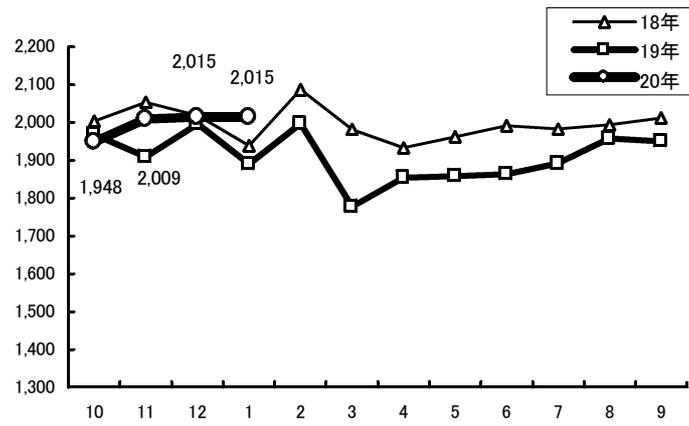


表2-1 小売価格(産地銘柄別)

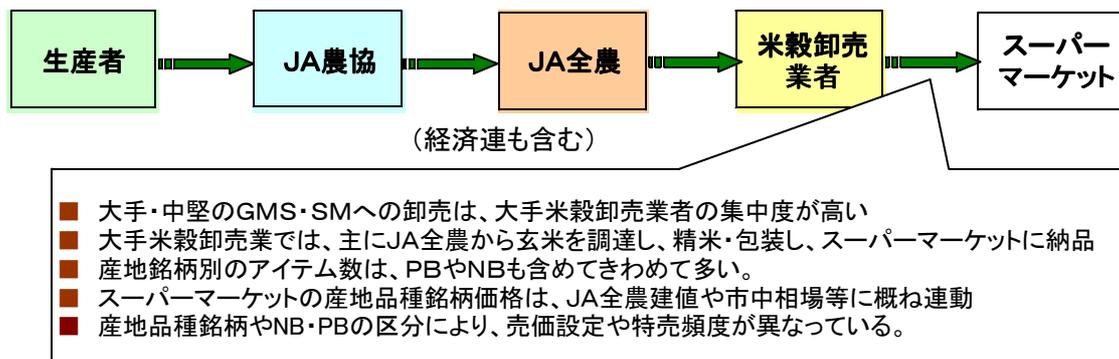
単位：円/5kg、消費税込み

	北海道 きらら397	青森 つがるロマン	宮城 ひとめぼれ	秋田 あきたこまち	山形 はえぬぎ	栃木 コシヒカリ	新潟 コシヒカリ	富山 コシヒカリ
平.17年度	1,637	1,436	1,722	1,906	1,644	1,980	2,106	2,060
18年度	1,569	1,388	1,711	1,843	1,546	1,865	2,103	1,990
19年度	1,530	1,451	1,782	1,811	1,541	1,744	2,152	1,953
20年度	1,514	1,536	1,917	1,870	1,791	1,919	2,169	1,997
平.19.10	1,533	1,440	1,807	1,747	1,557	1,703	2,079	1,975
11	1,523	1,452	1,811	1,758	1,513	1,731	2,082	1,934
12	1,526	1,371	1,768	1,726	1,536	1,744	2,075	1,897
平.20.1	1,514	1,390	1,823	1,797	1,560	1,740	2,115	1,889
2	1,561	1,384	1,740	1,809	1,555	1,747	2,079	1,997
3	1,528	1,337	1,750	1,702	1,544	1,719	2,095	1,777
4	1,533	1,354	1,836	1,790	1,552	1,737	2,104	1,854
5	1,524	1,365	1,744	1,758	1,574	1,738	2,109	1,858
6	1,531	1,366	1,798	1,793	1,645	1,720	2,117	1,864
7	1,543	1,356	1,834	1,797	1,647	1,738	2,134	1,892
8	1,530	1,381	1,833	1,803	1,652	1,767	2,156	1,958
9	1,576	1,418	1,872	1,800	1,680	1,843	2,207	1,951
平.20.10	1,508	1,546	1,862	1,839	1,749	1,937	2,196	1,948
11	1,498	1,546	1,890	1,894	1,847	1,904	2,152	2,009
12	1,521	1,520	1,939	1,868	1,782	1,919	2,173	2,015
平.21.1	1,534	1,528	1,979	1,893	1,810	1,909	2,156	2,012
平均	1,514	1,536	1,917	1,870	1,791	1,919	2,169	1,997
前年同月比								
平.18	▲ 4.1	▲ 3.4	▲ 0.6	▲ 3.3	▲ 6.0	▲ 5.8	▲ 0.2	▲ 3.4
19	▲ 2.5	4.6	4.2	▲ 1.7	▲ 0.3	▲ 6.5	2.3	▲ 1.9
平.19.10	1.4	1.8	2.5	▲ 6.9	▲ 0.8	▲ 8.1	▲ 1.9	1.9
11	▲ 2.4	6.4	3.0	▲ 8.1	▲ 3.6	▲ 6.5	▲ 1.3	▲ 7.3
12	▲ 0.5	0.3	▲ 0.2	▲ 4.7	▲ 1.8	▲ 3.9	4.0	▲ 4.3
平.20.1	▲ 6.5	3.2	6.3	▲ 2.8	2.8	▲ 9.3	0.4	▲ 2.3
2	▲ 2.8	1.7	2.4	▲ 1.3	1.1	▲ 5.4	▲ 1.2	1.8
3	▲ 6.1	▲ 1.3	4.0	▲ 5.6	▲ 0.6	▲ 7.8	▲ 0.2	▲ 10.8
4	▲ 10.8	▲ 2.8	9.5	▲ 1.7	2.0	▲ 5.0	1.0	▲ 6.5
5	▲ 16.6	▲ 0.5	4.0	▲ 0.2	2.2	▲ 5.7	▲ 1.4	▲ 6.8
6	▲ 10.7	▲ 2.3	7.3	▲ 2.8	3.5	▲ 3.6	▲ 1.7	▲ 7.4
7	1.3	▲ 9.1	3.5	▲ 5.7	▲ 8.1	▲ 3.5	▲ 0.0	▲ 3.8
8	▲ 0.1	▲ 7.4	2.0	▲ 5.3	▲ 6.1	▲ 0.6	0.7	2.6
9	2.9	▲ 2.3	3.6	▲ 3.0	▲ 5.3	5.6	4.2	▲ 2.2
平.20.10	▲ 1.7	7.4	3.1	5.2	12.3	13.7	5.6	▲ 1.3
11	▲ 1.6	6.5	4.3	7.8	22.1	10.0	3.4	3.9
12	▲ 0.3	10.9	9.7	8.2	16.1	10.0	4.7	6.2
平.21.1	1.3	9.9	8.6	5.4	16.0	9.7	1.9	6.5

## (3) 米のスーパーマーケットへの主な流通ルートと価格形成要因

- 大手・中堅スーパーマーケットへの卸売は、大手米穀卸売業者の集中度が高いものと想定される。
- 大手米穀卸売業では、主に JA 全農から玄米を調達し、精米・包装し、スーパーマーケットに納品している。産地品種銘柄別のアイテム数は、NB や PB を含めてきわめて多くなっている。
- スーパーマーケットの産地品種銘柄別の小売価格は、JA 全農の相対取引価格指標や市中相場等に概ね連動したものと考えられる。
- スーパーマーケットでは、産地品種銘柄の仕入や消費の動向を踏まえ、販売政策を決めることから、それぞれ売価設定や特売頻度が異なっている。また、これらは NB・PB の区分により異なっている。

図2-13 米のスーパーマーケットへの主な流通ルートと価格形成要因



---

---

## 2 ディスカウントストアのうるち米小売価格

### ① 調査対象

調査対象者は主要 11 都道府県（北海道、宮城、東京、千葉、神奈川、埼玉、愛知、大阪、兵庫、広島、福岡）で米を販売しているディスカウントストア 46 店舗である。調査対象は 5kg 入りのうるち米とした。

表2-2 地域別の調査対象店舗数

北海道	宮城	埼玉	千葉	東京	神奈川	愛知	大阪	兵庫	広島	福岡
6	3	4	6	6	3	4	3	3	4	4

米のディスカウント販売として想定される小売業から選定したものである。具体的な業態は食品ディスカウントストア、ドラッグストア、ホームセンター、酒ディスカウントストア等である。

### ② 調査方法

調査員による店頭調査により実施。

### ③ 調査時期

平成 20 年 9 月～平成 21 年 1 月の毎月調査

## (1) ディスカウントストアにおけるうるち米の小売価格

**ディスカウントストアの小売価格は、農林水産省調べ小売価格より高め**

ディスカウントストアにおける産地品種銘柄別小売価格は、農水省調べ小売価格より低くなっている。しかし、スーパーマーケットと比べると、同水準のもの、やや高いものがみられた。この要因として、ディスカウントストアでは、必ずしも低マージン高回転型（薄利多売）ではなく、品揃えの一環としての位置づけになっていることが一因とみられる。

調査対象のディスカウントストアにおける米 5kg 入りアイテム数は、1 店舗当たり 5 から 20 くらいまで多様となっている。食品ディスカウントストアのうち、品揃え重視の店舗ではアイテム数も多くなっている。一方、ドラッグストアやホームセンターではアイテム数が少なく、米を低マージン高回転型（薄利多売）の戦略商品ではなく、品揃えの一環として位置づけている。

調査対象のディスカウントストアにおける米 5kg 入の産地品種銘柄別小売価格は、総じて、スーパーマーケットに比べて同水準のもの、やや高いものがみられた。この要因として、ディスカウントでは、米が低マージン高回転型商品の位置づけではないこと、また、近年は米の流通において余剰在庫処分などによるディスカウントストアの安価な調達手法が難しくなっているとの見方もある。

ドラッグストアやホームセンターでは品揃えのアイテムや売価設定が固定化しているケースもみられる。

表2-3 ディスカウントストアの小売価格の事例(平成20年産)

(単位:円/精米10kg、消費税込み)

産地品種銘柄	小売価格 (20年10月) ①	農林水産省調 べの小売価格 (20年10月) ②	①/②(%)	備考
北海道きらら397	3,560	3,598	98.9	—
北海道きらら397	3,596	3,598	99.9	—
北海道きらら397	3,360	3,598	93.4	—
青森つがるロマン	3,160	3,590	88.0	—
青森つがるロマン	3,560	3,590	99.2	—
宮城ひとめぼれ	3,980	4,235	94.0	—
宮城ひとめぼれ	3,480	4,235	82.2	—
宮城ひとめぼれ	3,760	4,235	88.8	—
宮城ひとめぼれ	3,960	4,235	93.5	—
秋田あきたこまち	4,200	4,220	99.5	無洗米
秋田あきたこまち	3,760	4,220	89.1	無洗米
秋田あきたこまち	3,960	4,220	93.8	無洗米
秋田あきたこまち	3,900	4,220	92.4	—
秋田あきたこまち	4,198	4,220	99.5	—
秋田あきたこまち	3,998	4,220	94.7	—
秋田あきたこまち	3,760	4,220	89.1	—
山形はえぬき	3,596	4,137	86.9	—
山形はえぬき	3,598	4,137	87.0	—
栃木コシヒカリ	3,560	4,075	87.4	—
新潟コシヒカリ	4,960	5,069	97.8	無洗米
新潟コシヒカリ	4,760	5,069	93.9	無洗米
新潟コシヒカリ	4,596	5,069	90.7	—
新潟コシヒカリ	4,560	5,069	90.0	—
新潟コシヒカリ	3,960	5,069	78.1	—
新潟コシヒカリ	4,700	5,069	92.7	—
新潟コシヒカリ	5,180	5,069	102.2	無洗米
新潟コシヒカリ	4,360	5,069	86.0	—
富山コシヒカリ	3,960	4,540	87.2	無洗米
富山コシヒカリ	3,560	4,540	78.4	—
富山コシヒカリ	3,960	4,540	87.2	—